KÄRCHER

ケルヒャー業務用床洗浄機

B40 W Bp
取扱い説明書

この度はケルヒャー商品をお買いあげいただき誠にありがとうございました。
ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき安全に正しくご使用ください。
お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

B 40 W Bp 2012.06
5.964-472.0

◆もくじ

安全上の注意	3～8
仕様	9～10
パレットから下ろします	11
各部名称	12～15
タンクを持ち上げる	16
給水（スタンダード）	17
給水（プレミアム）	18
洗浄水を捨てる	19
洗浄剤のセット（プレミアム）	20
汚水タンクの確認	21
汚水を捨てる	22
汚水タンクのすすぎ（プレミアム）	23～24
スクイジーの調整	25
ブラシヘッド　BR	26～27
ブラシヘッド　BD	28～29
簡易操作方法	30
作業者の操作方法　イエロープレートキー	31
管理者が行う設定　グレープレートキー	32～33
作業者が調整できる範囲の設定	34～35
プログラム後との清掃仕様の設定	36～37
バッテリーの設定	38
清掃手順	39～40
作業終了手順	41
保管方法	42
メンテナンス	43～45
トラブル対応	46～48
エラー表示	49～51
ユーザー保証・問い合わせ先	52
補修部品	53～54

安全上の注意

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示しています。

の記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。

の記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。

注意

洗浄は自己責任において行なうこと

万一洗浄対象物に変色、変形、破損などが生じた場合、もしくは正しく操作をせずにやけどやケガを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

⚠ ご使用時の警告

本体、電源プラグに水をかけないこと
感電する場合があります。

ぬれた手で電源プラグを触らないこと
感電する場合があります。

子供には触らせないこと
けがをする場合があります。

改造禁止
火災、感電、けがの原因になります。
ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
機能を十分に発揮しない場合が生じ、思わぬ事故のもとになることがあります。
この製品は電波法に基づく総務省の型式認可を受けています。改造を行った場合は電波法により罰せられます。

危険物や火気のある場所で使用しないこと
火災の原因となります。

危険物を水の代りに注入しないこと
灯油、ガソリン、オイル、ワックス、塗料などの油性の液体を水の代わりに注入しないでください。
火災になるおそれがあります。

フッ化水素酸を含有する洗浄剤は使用しないこと
中毒・機器の損傷が生じます。

⚠ ご使用時の警告

汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスク等
適切な防護具を身に着けること
汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

修理はケルヒャーまたはケルヒャー認定技術者が行うこと
個人の修理は事故のもとになるおそれがあります。

ご使用時の注意点

給水温度は最大６０℃
限度温度以上の水を補給しないでください。

テスト洗浄をおこなうこと
床の素材に適したセッティングで洗浄してください。

担当者以外作業をしないこと
誤動作によりけがや事故の発生する場合があります。

設定を変更する場合は安全な場所で行うこと
平坦な周りに人がいない場所で行ってください。

2%以上の勾配で使用しないこと
転倒する場合があります。

作業中に疲労感が生じた場合は作業を中止すること
体調を崩す場合があります。

純正洗浄剤を使用すること
十分な洗浄能力を発揮しない場合があります。

発泡洗浄剤は使用しないこと
汚水を回収できなくなります。

パッド、ブラシの磨耗を確認すること
床を傷つける場合があります。

保管する場合は鍵を抜くこと
安全確保のため必ず鍵を抜いてください。

⚠ バッテリーに関する警告

バッテリーを短絡させないこと
短絡させた場合、爆発する危険性があります。

接続ケーブルは確実に取り付けること
ゆるい場合短絡し、引火爆発の原因となります。

バッテリーに水をかけないこと
引火爆発の原因となります。

バッテリーに衝撃を与えないこと
内部充填液が衣服、皮膚、目に付着した場合、損傷、火傷、失明の原因になります。

バッテリーを倒した状態で使用しないこと
引火爆発の原因となります。

充電は必ず屋内でおこなうこと

危険物のある場所で充電しないこと
引火爆発する場合があります。

軽作業時の充電はインジケーターランプが点滅したらおこなうこと
インジケーターランプが黄色になる前に充電作業を実施した場合、バッテリーが過充電となりバッテリーの寿命を著しく低下させます。

充電は換気のよい、乾いた場所でおこなうこと
充電中はバッテリーからガスが発生し引火爆発を生じる恐れがあります。

⚠ バッテリーに関する注意

充電中は火気厳禁
充電中はバッテリーからガスが発生し引火爆発を生じる恐れがあります。

充電中は接続プラグを抜かないこと
バッテリーの寿命を縮める場合があります。
充電中に接続プラグを抜かないでください。

作業終了後は毎日充電すること
完全放電状態で充電をおこなうとバッテリーの負担が増加し、充電回数が低下します。
７５%放電時の充電時間は外気温度 30℃の場合、約 10 ～ 12 時間かかります。
充電は途中で止めないでください。

専用充電器を使用すること
専用充電器以外で充電した場合バッテリーの寿命を著しく低下させます。

長期保管時は充電すること
１ヶ月以上使用しない場合は毎月１度必ず充電をおこなってください。
バッテリーは使用しない状態で保管した場合、約３か月で完全放電し寿命が著しく低下します。

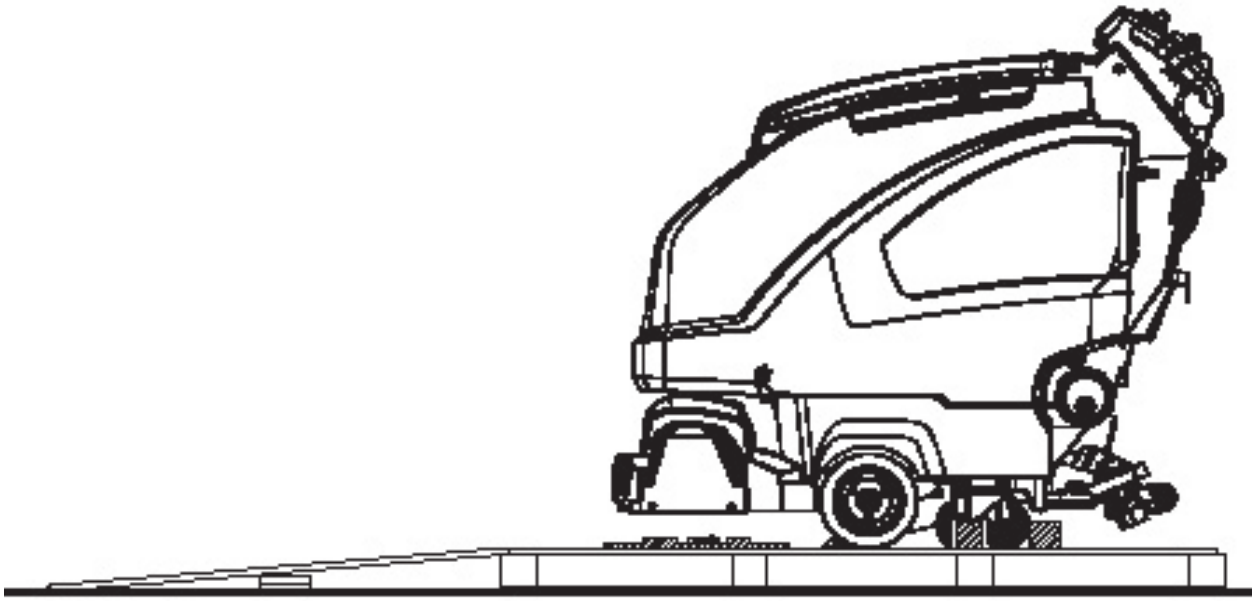
2　仕様　B40 / R45・R55

R45　寸法　L×W×H	mm	1,249 x 520 x 1,145
R55　寸法　L×W×H	mm	1,249 x 620 x 1,145
清掃幅	mm	450・550
吸引幅	mm	850
タンク容量　清水／汚水	L	40 / 40
給水温度　Max	℃	60
清掃能力	m^2/ h	1800・2200
ブラシ回転数	rpm	600～1200
吸引力	kPa	12.0
積載バッテリー	V/Ah/ 5 h	12V（2 個） 105Ah（ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾌﾘｰ）
走行モーター	W	130
バキュームモーター	W	500
ブラシモーター	W	600
質量　バッテリー込み	Kg	164
登坂能力	%	2
騒音値　（EN60704-1）	ｄＢ（A）	68

仕様　B40/D43・D51

D43　寸法　L×W×H	mm	1,331 x 537 x 1,145
D51　寸法　L×W×H	mm	1,369 x 575 x 1,145
清掃幅	mm	430・510
吸引幅	mm	850
タンク容量　清水／汚水	L	40 / 40
給水温度　Max	℃	60
清掃能力	m^2/ h	1800・2200
ブラシ回転数	rpm	180
吸引力	kPa	11.5
積載バッテリー	V/Ah/ 5 h	12V（2 個） 105Ah（ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾌﾘｰ）
走行モーター	W	130
バキュームモーター	W	500
ブラシモーター	W	600
質量　バッテリー込み	Kg	164
登坂能力	%	2
騒音値　（EN60704-1）	ｄB（A）	69

パレットから下ろします

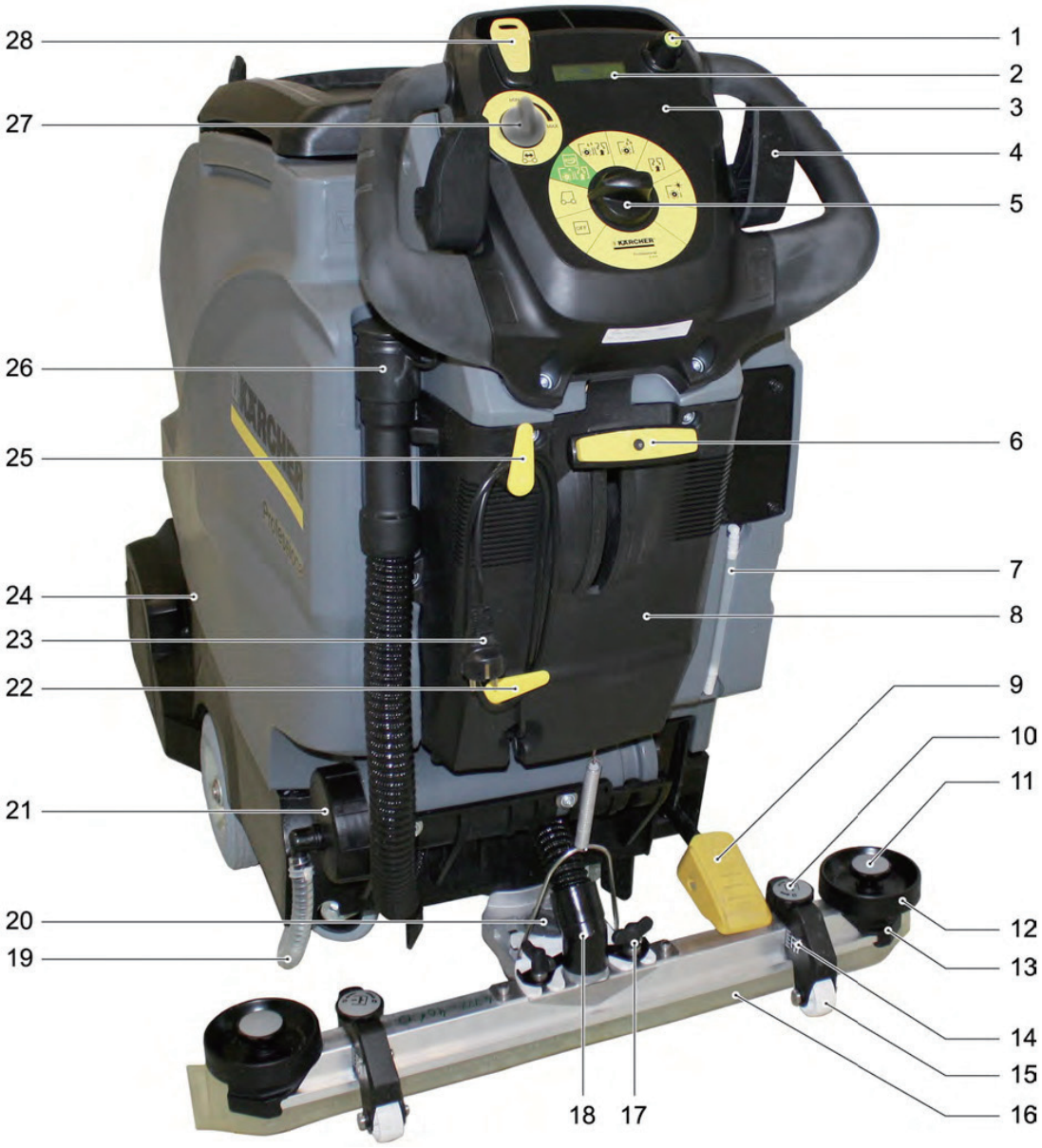


●パレットから下ろす

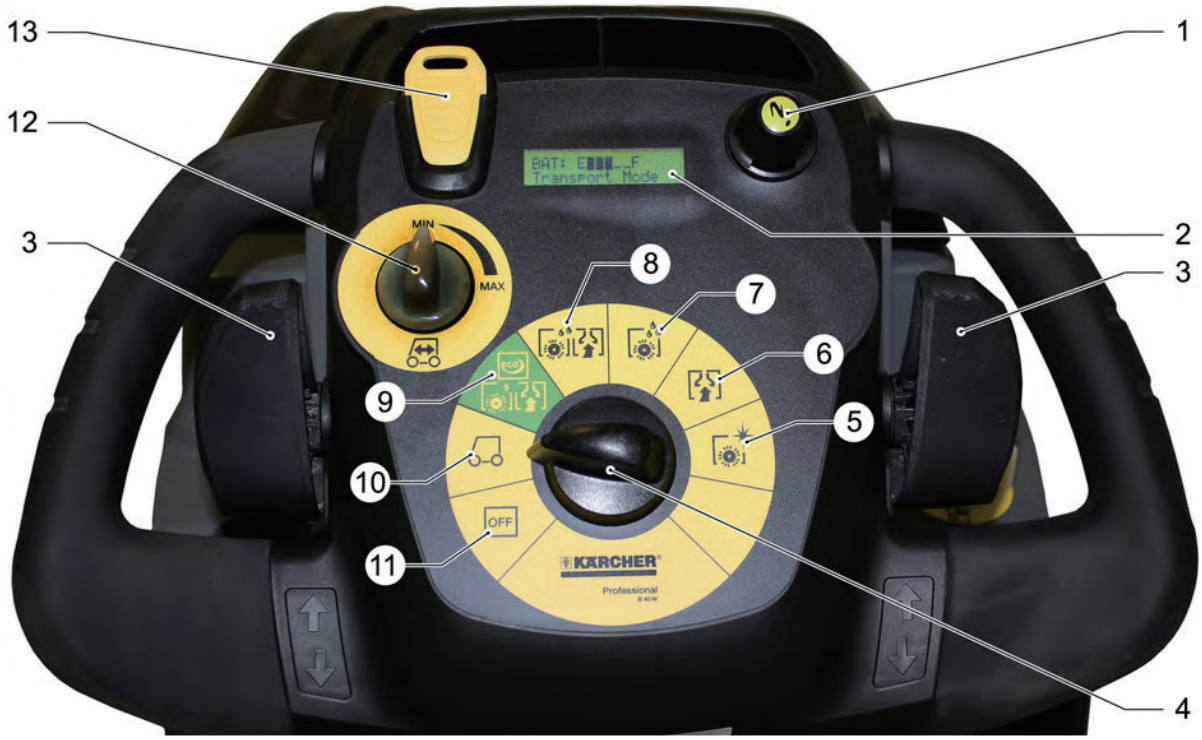
パレットの板を取り外し傾斜路を造り、パレットに固定します。
板は釘で固定し、短い余り板を板の下に重ねて強度を上げてください。
タイヤの前後にある留め木を取除きます。
バッテリーを接続してください。
イエロープレートキーを挿入してください。
プログラムスイッチを走行モードに合わせてください。
走行スピード調整ノブを最低速度に合わせてください。
走行レバーを前方に押してください。
注意しながらパレットから下ろしてください。
操作の詳細は取扱説明書に準じ操作してください。

各部名称

１　カバー
２　洗浄剤吸引ホース
３　洗剤タンクホルダー
４　清水タンクキャップ
５　ブラシヘッド　（ＢＲ）
６　散水ノズルカバー
７　ガイドローラー
８　ブラシホルダー
９　ブラシローラー
１０　ブラシホルダー解除ボタン
１１　ダストタンク
１２　走行輪
１３　キャスター
１４　スクイジー
１５　清水タンク
１６　カバーロック
１７　アクセサリーホルダーレール
１８　散水ノブ
１９　ハンドル
２０　操作パネル
２１　面圧調整
２２　ブラシヘッド　（BD）
２３　リッド
２４　ガイドローラー
２５　ブラシ外しペダル



１　メニューダイヤル
２　ディスプレー
３　操作パネル
４　走行レバー
５　プログラムスイッチ
６　スクイジー昇降レバー
７　水量計
８　電源ボックス
９　ブラシ昇降ペダル
１０　スクイジー高さ調整ノブ
１１　ガイドローラー固定スクリュー
１２　ガイドローラー
１３　スクイジーガイド
１４　スクイジー高さ調整プレート　(ｵﾌﾟｼｮﾝ)
１５　ガイドローラー　(ｵﾌﾟｼｮﾝ)
１６　スクイジー
１７　スクイジー固定ナット
１８　吸引ホース
１９　清水供給ホース
２０　スクイジー固定プレート
２１　排水キャップ
２２　ケーブルフック
２３　充電器用電源ケーブル
２４　タンクロック
２５　ケーブルフック
２６　汚水排水ホース
２７　走行スピード調整ノブ
２８　プレートキー



1　メニューダイヤル
2　ディスプレー
3　走行レバー
4　プログラムスイッチ
5　磨きモード
6　吸引モード
7　洗浄モード
8　洗浄モード
9　Eco モード
10　走行モード
11　停止
12　走行スピード調整ダイヤル
13　プレートキー

●ディスプレー

BAT

⇒ バッテリー容量を５分割表示します。
最後のバーなると２分後に移動以外できなくなります。

Transport mode

⇒ プログラムスイッチの設定を表示

●プレートキー

●黄色　作業者用

作業のみできます。
メニューダイヤルで設定変更はできません。

●グレー　管理者用

メニューダイヤルで設定変更が行えます。

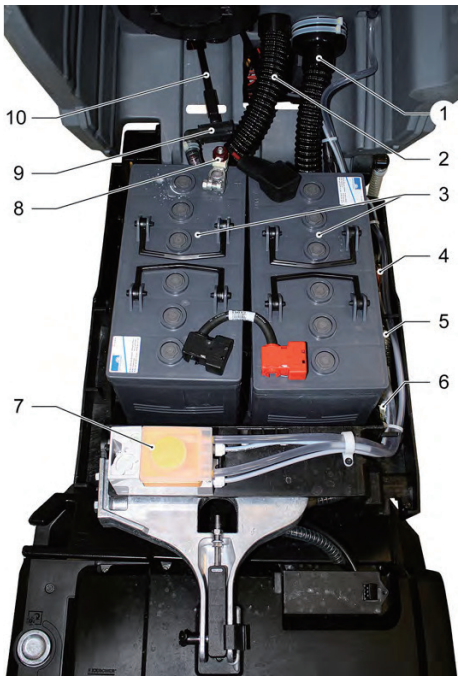
●洗浄水ダイヤル

洗浄水の水量を調整します。

タンクを持ち上げる

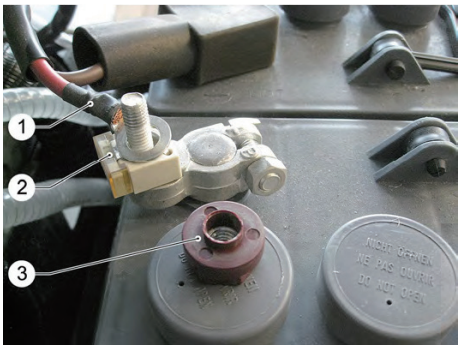
シャーシ右側の固定フックを押し下げタンクを持ち上げてください。

１　固定フック



タンクを持ち上げるとバッテリー・洗浄注入ポンプがあります。

１　汚水排水ホース
２　吸引ホース
３　バッテリー
４　流量センサー（プレミアム）
５　洗剤注入用インジェクター（プレミアム）
６　吸水用電磁バルブ
７　洗剤用ポンプ　（プレミアム）
８　メインヒューズ
９　水量調整ボールバルブ
１０　水量調整ロッド



●メインヒューズの確認

バッテリー接続ケーブルに緩みが無いか確認してください。

１　プラス側　ケーブル
２　メインヒューズ　（125 A）
３　ヒューズ取り付けナット

ヒューズ取り付けナットに緩みが無いか確認してください。

ヒューズ取り付けナットの凸みをヒューズの穴に挿入するように締め込んでください。
ヒューズ取り付けナットの凸が破損したものは使用しないでください。

給水　（スタンダード）

給水カバーを開けタンクに１／４以上給水してください。

洗浄剤を適正量投入してください。

水量計の黄色いボールの位置で水量が確認できます。
（水量計の 1/4 以上補水してください。）
　満水で 40L

洗浄水ダイヤルを回し洗浄水の量を調整してください。
ブラシ駆動時のみ供給します。

給水　（プレミアム）

別途給水ホースをご用意ください。

矢印の給水カバーを開けてください。

給水ホースを接続コネクターへ差し込んでください。
給水栓を全開にしてください。
自動停止バルブ（フローとバルブ）に不具合が生じた場合はオーバーフローから排水されます。

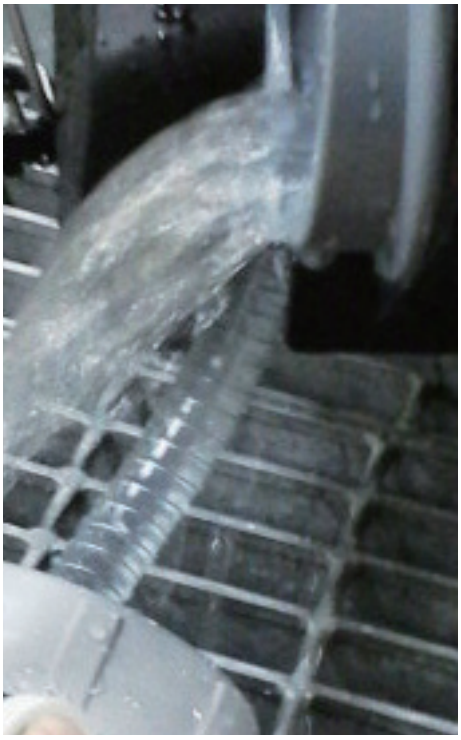
1　給水ホース
2　オーバーフロ

●水量計

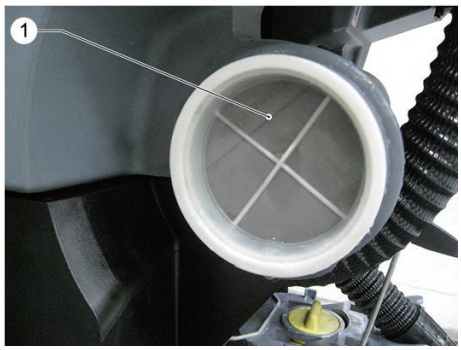
水量計の黄色いボールの位置で水量が確認できます。
（水量計の 1/4 以上補水してください。）
　満水で 40L

洗浄水を捨てる

排水場所に移動してください。
キャップを取り外してください。



排水後キャップにフィルターが取り付けられています。
フィルターのゴミを取り除いてください。



フィルターを挿入してください。
清水排水キャップをシッカリ閉めこんでください。

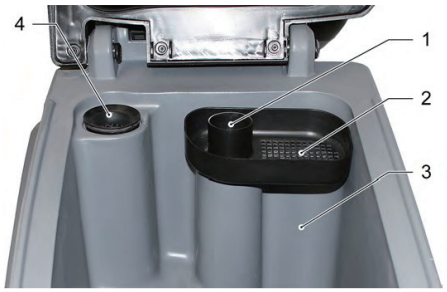
1　清水フィルター

洗浄剤のセット　（プレミアム）

洗剤ボトルをセットしてください。
吸引ホースを投入しキャップを閉めてください。

洗浄水ダイヤルを回してください。
洗浄水の量を調整してください。
ブラシ駆動時のみ供給します。

汚水タンクの確認



●フィルター

汚水タンクには２個のフィルターがあります。

１　汚水吸引口

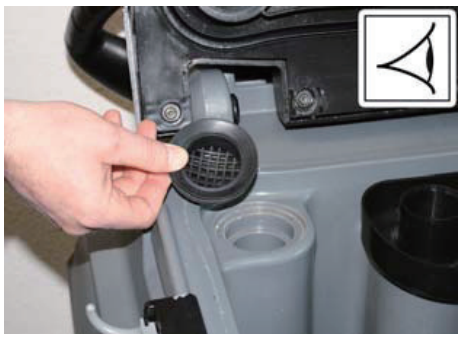
２　汚水フィルター（あらゴミを取り除きます）

３　汚水タンク

４　吸引フィルター（吸引タービン用）

汚水フィルターにゴミが有る場合は取り外しゴミを取り除いてください。

清掃作業時は必ず取り付けてください。



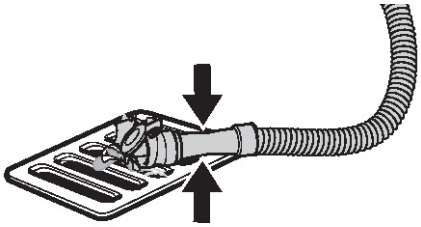
吸引フィルターを取り外しゴミを取り除いてください。

清掃作業時は必ず取り付けてください。

汚水を捨てる

排水場所に移動してください。
排水ホースを取り外してください。

先端のキャップを抜いてください。
汚水を排出してください。



排水ホースの先端をつぶしながら排水すると排出量が調整できます。
排出後キャップをホースにシッカリ押し込んでください。
キャップが浮いている場合
汚水の吸いが著しく悪化します。

汚水を捨てた後タンクを濯いでください。

汚水タンクのすすぎ （プレミアム）

清掃作業終了後タンクカバー裏面のノズルで洗浄を行います。

1　ホースコネクター
2　コネクターカバー
3　接続ホース
4　クリーニングノズル

別途給水ホースをご用意ください。
ホース先端にワンタッチカップリングを取り付けてください。

固定クリップを引きながらタンクカバーを持ち上げてください。
1　固定クリップ
2　ロック

コネクターカバーを取り外し外側に引き出してください。

給水ホースをホースコネクターへ差し込んでください。

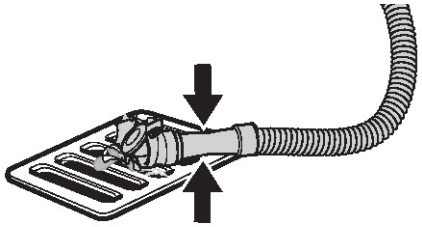
水道栓を全開にし 30 秒間汚水タンクを洗浄してください。

洗浄後汚水タンク内を確認し汚れが落ちていない場合は数回繰り返してください。

排出後　キャップをホースにシッカリ押し込み元の状態に戻してください。

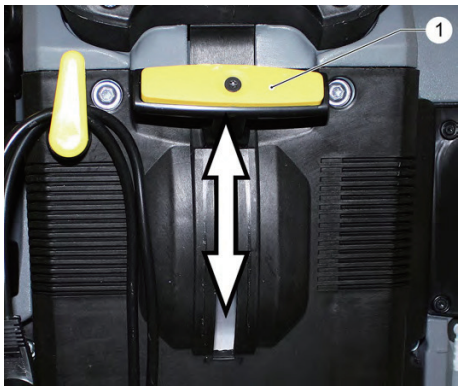
洗浄作業終了後　ホースコネクターにコネクターカバーを取り付けてください。

先端のキャップを抜いてください。
汚水を排出してください。



排水ホースの先端をつぶしながら排水すると排出量が調整できます。
排出後キャップをホースにシッカリ押し込んでください。
キャップが浮いている場合
汚水の吸いが著しく悪化します。

スクイジーの調整



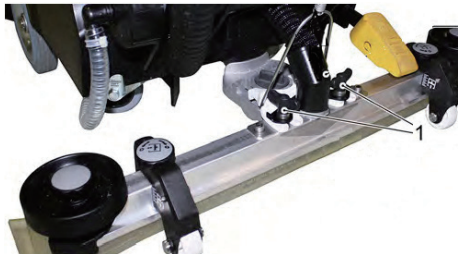
●スクイジーを下ろす

昇降ハンドルを握りロックを解除した状態でハンドルを下げてください。

●スクイジーを持ち上げる

昇降ハンドルをロックするまで上に持ち上げてください。

1　スクイジー昇降ハンドル



●スクイジーの固定

車体後部のプレートにスクイジーを差し込みスクリューで固定してください。

1　固定スクリュー

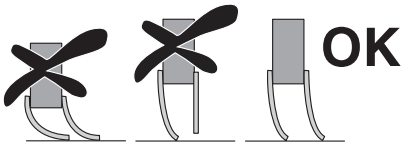
●スクイジーの前後の角度調整

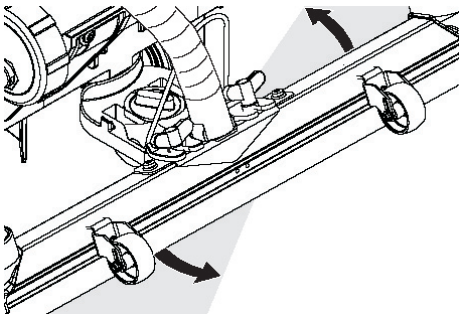
角度調整ダイヤルを回しスクイジーの前後の傾きを調整してください。

●スクイジーの高さ調整　（ｵﾌﾟｼｮﾝ）

部品番号　4.035-339.0　2 個必要です。

スクイジーゴムの接地状態をスクイジー高さ調整ノブを回し微調整することができます。



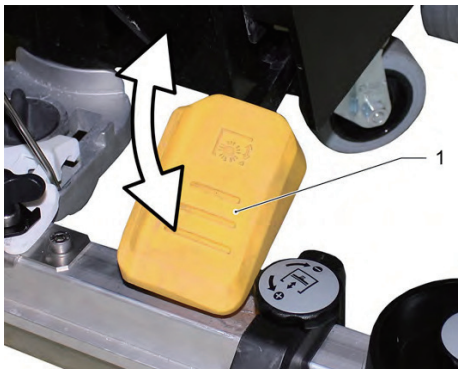


●スクイジーの左右の取り付け角度の調整

目地のある床を清掃する場合はスクイジーをプレートに斜めに取り付けてください。

ブラシヘッド　BR（ローラーブラシ）

ブラシは動かす前に取り付けてください。
ブラシの選択を間違えた場合床材を傷める場合があります。
作業前に必ずテストを実施してください。



●ブラシヘッドの昇降

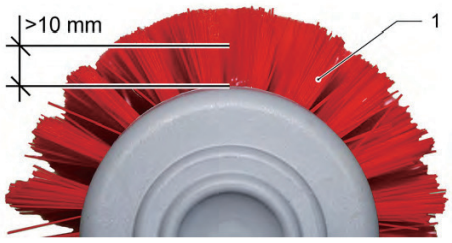
ブラシを持ち上げる場合
ブラシ昇降ペダルを下げロックしてください。
ブラシを下げる場合
ブラシ昇降ペダルのロックを解除してください。

1　ブラシ昇降ペダル

●ブラシの取り外し

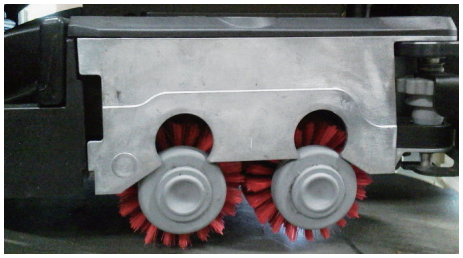
ブラシヘッドを持ち上げてください。
解除ボタンを強く押してください。
ブラシカバーが開きます。

ブラシを引き抜いてください。



●ブラシの交換時期

ブラシの毛足が 10mm 以下になった場合は新しいブラシに交換してください。



●ブラシの取り付け

ブラシカバーを閉じてください。
ブラシを挿入し奥のシャフトにシッカリ差し込んでください。
ブラシの突起をブラシカバーの穴に合わせてください。

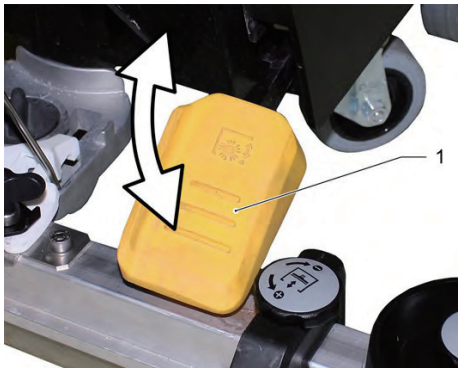
●粗ゴミの回収　（プレスイープ）

コンテナのハンドルを持ち上げてください。
コンテナに貯まった粗ゴミを定期的に捨ててください。
（例：１時間毎）

元の状態に戻してください。

ブラシヘッド　BD（ディスクブラシ）

ブラシは動かす前に取り付けてください。
ブラシの選択を間違えた場合床材を傷める場合があります。
面圧の調整は徐々に上げテストを実施してください。



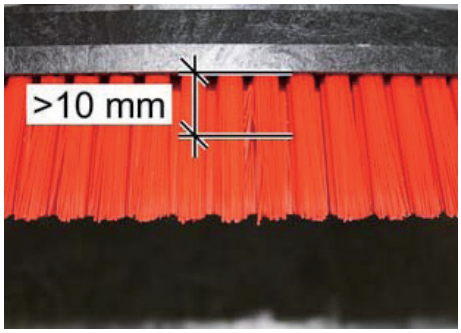
●ブラシヘッドの昇降

ブラシを持ち上げる場合
ブラシ昇降ペダルを下げロックしてください。
ブラシを下げる場合
ブラシ昇降ペダルのロックを解除してください。

1　ブラシ昇降ペダル

●ブラシの取り外し

ブラシヘッドを持ち上げてください。
ペダルを踏み込むとブラシが外れます。
1　ペダル
2　面圧調整ノブ



ブラシの毛足が 10mm 以下になった場合は新しいブラシに交換してください。

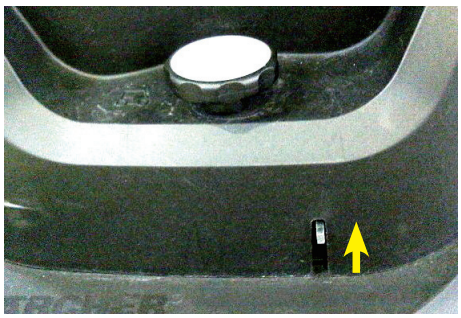
●ブラシの取り付け

ブラシを挿入してください。
ブラシ中央部分とブラシヘッドのフランジ位置を合わせてください。
ブラシを水平に持ち上げてください。

●ブラシの面圧調整

面圧調整ノブを回し調整してください。

（面圧は徐々に上げてください）



面圧調整ノブを時計回りに回すと
面圧を高くなります。

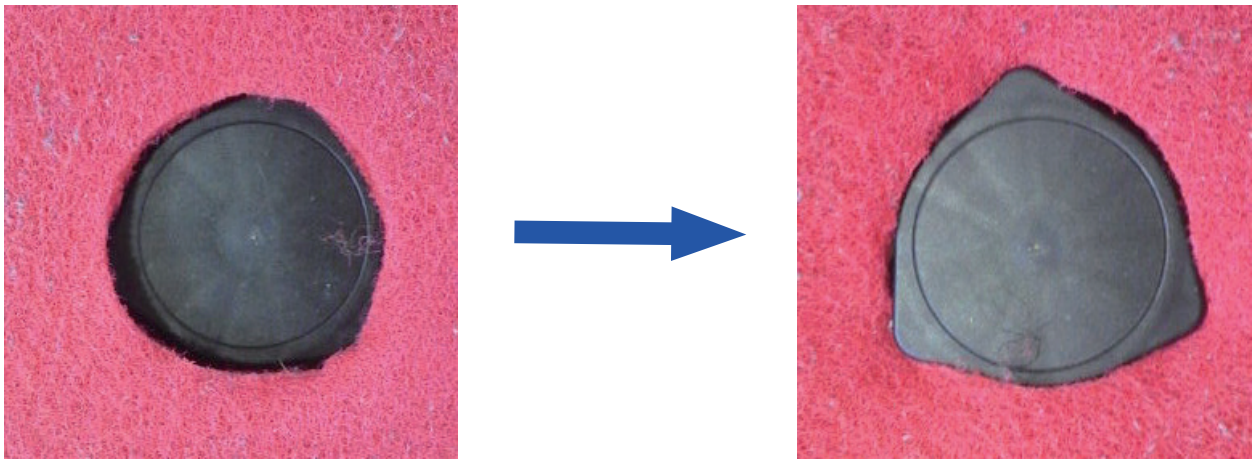
プレートが上にスライドします。
（写真は最も高くした状態）

面圧調整ノブを反時計回りに回すと
面圧を低くなります。

プレートが下にスライドします。
（写真は最も低くした状態）

●パッドを取り付ける場合の注意

パッドのセンターをパッドディスクのセンタープレートの下に押し込んでください。

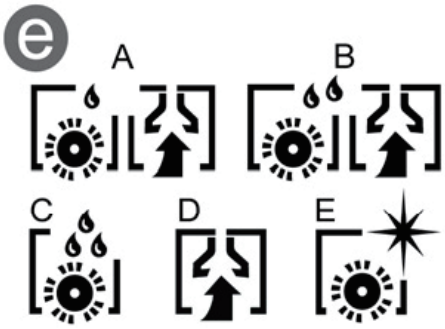


簡易操作方法

初めて使用する際はテスト洗浄をおこなうこと
床に適合したモードで作業を行なうこと
2%以上の勾配で使用しないこと
汚水の処理は、各地方自治体の規定に沿って行なうこと
洗浄剤は純正洗浄剤を適正量使用すること

イエロープレートキーを挿入してください。

プログラムスイッチを回し清掃モードを選んでください。
管理者が設定した項目のみ作業者は操作が行えます。



プログラムスイッチ	動作
停止	ーーーー
A　走行モード	移動
B　ECO 洗浄モード	汚れの軽い場所
C　標準洗浄モード	日常清掃
D　洗いモード	洗いをおこなう場合
E　吸引モード	吸引をおこなう場合
F　磨きモード	磨きをおこなう場合

作業者用イエロープレートキーの操作方法

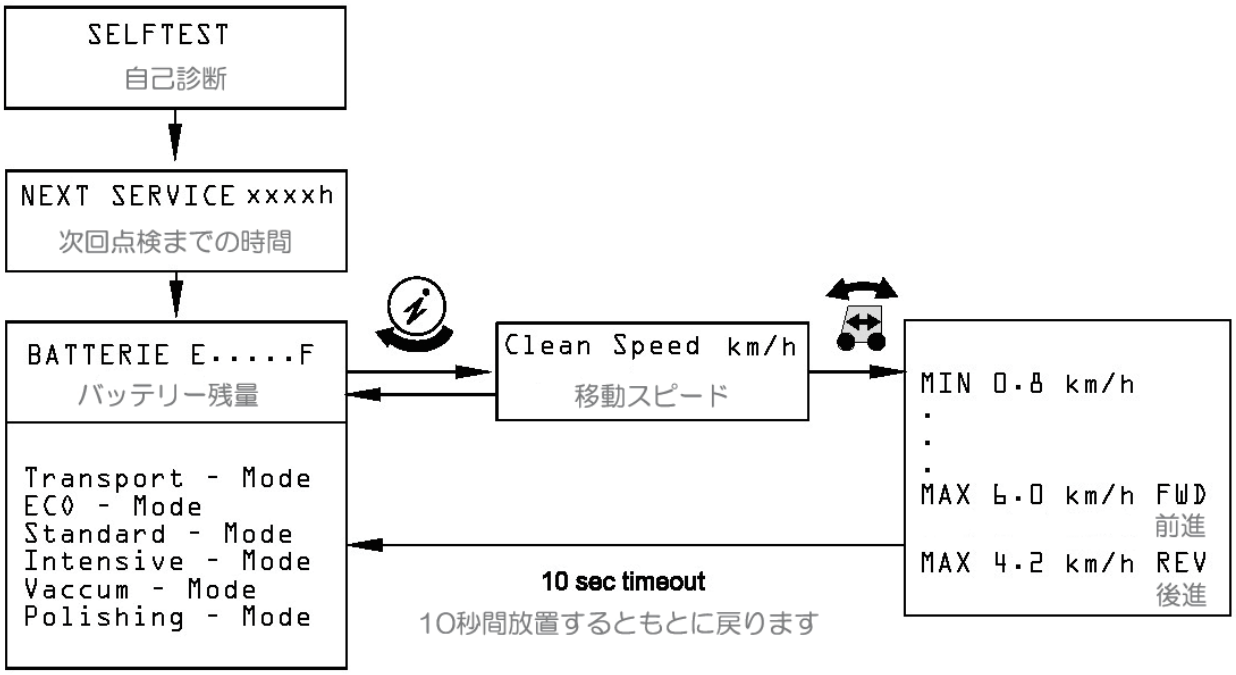
イエロープレートキーを挿入してください。

プログラムスイッチを走行モードに合わせてください。
メニューダイヤルを回し
ディスプレーに< CleanSpeed >を表示してください。
スピード調整ダイヤルを回し走行スピードを調整してください。
１０秒間操作を行わない場合初めの表示に戻ります。

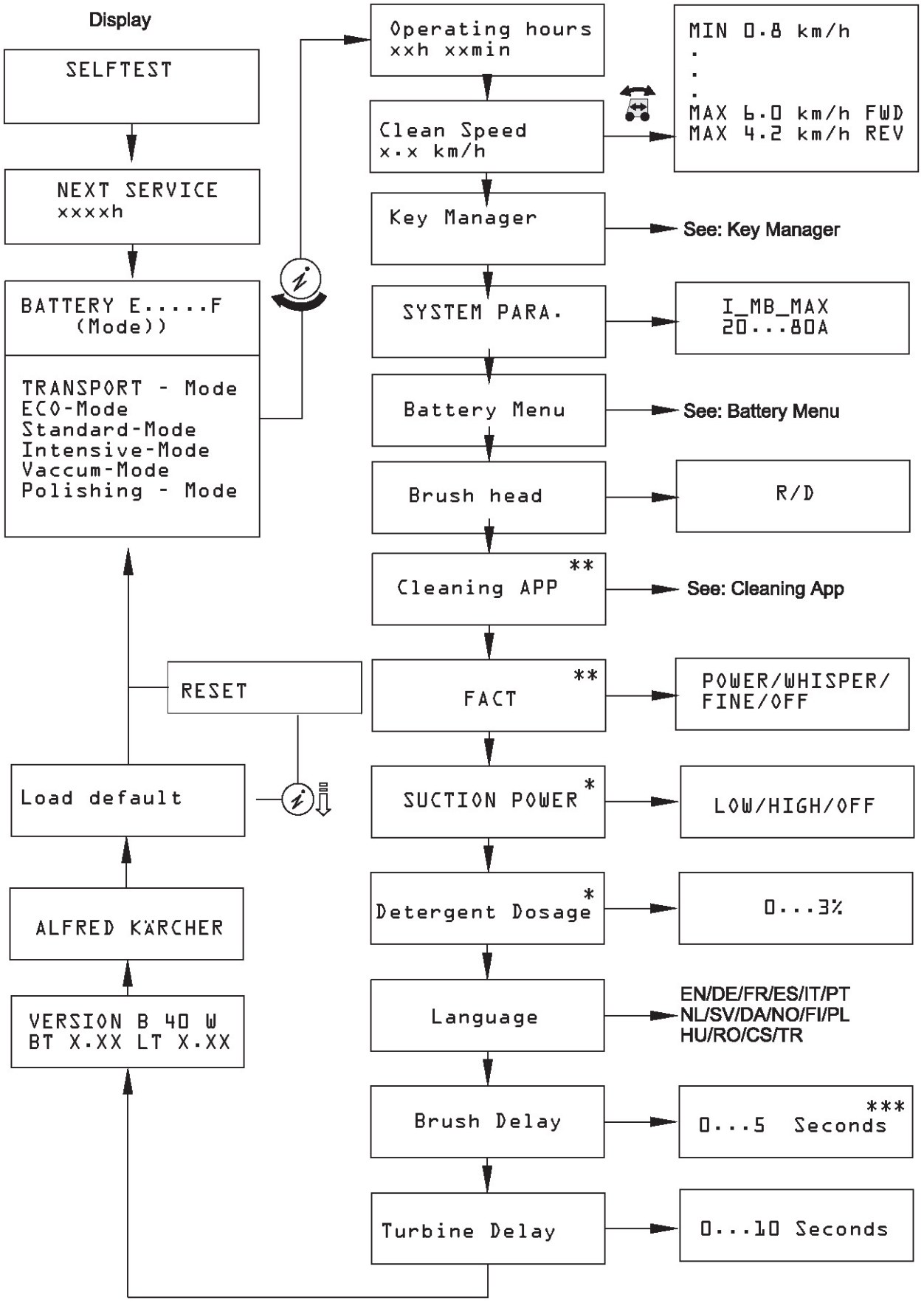
メニューダイヤル

押す：メニュー選択もしくは実行

回転 プログラムの選択



管理者が行う設定　グレープレートキー



＜管理者が行う設定＞

① グレープレートキーを挿入してください。

② プログラムスイッチを任意の清掃モードに合わせてください。

③ メニューダイヤルを回し 設定変更を行うメニューを呼び出してください。

④ メニューダイヤルを押し 設定変更を行います。

Clean Speed	：清掃スピード調整
Key manager	：作業者が行える調整設定
SYSTEM param	：オーバーロード電流値設定（変更しないでください）
Battery Menu	：搭載バッテリーを変更する場合（制御電流値が変更されます）
Brush head	：ブラシヘッド D もしくは R を設定（走行モード時のみ設定可）
Cleaning APP	：清掃プログラムの詳細設定 （優先設定項目です）
FACT	：ブラシスピードマニュアル調整
SUCTION POWER	：吸引マニュアル調整
Detergent Dosage	：洗剤投入量マニュアル調整
Language	：表示言語の選択
Brush Delay	：走行停止後のブラシ駆動時間
Turbine Delay	：OFF にした場合の吸引持続時間
Load default	：**＜出荷モードに上書きされ任意データーは消去されます＞**
VERSONB ４０W	：制御基盤のバージョン

⑤ 設定終了後　メニューダイヤルを押し 設定変更メニューを呼び出してください。

⑥ 全ての設定終了後　メニューダイヤルを回し Write to key　を表示してください。

⑦ メニューダイヤルを回し 表示を　BATTERY E..... F にしてください。

⑧ プログラムスイッチを OFF に合わせてください。

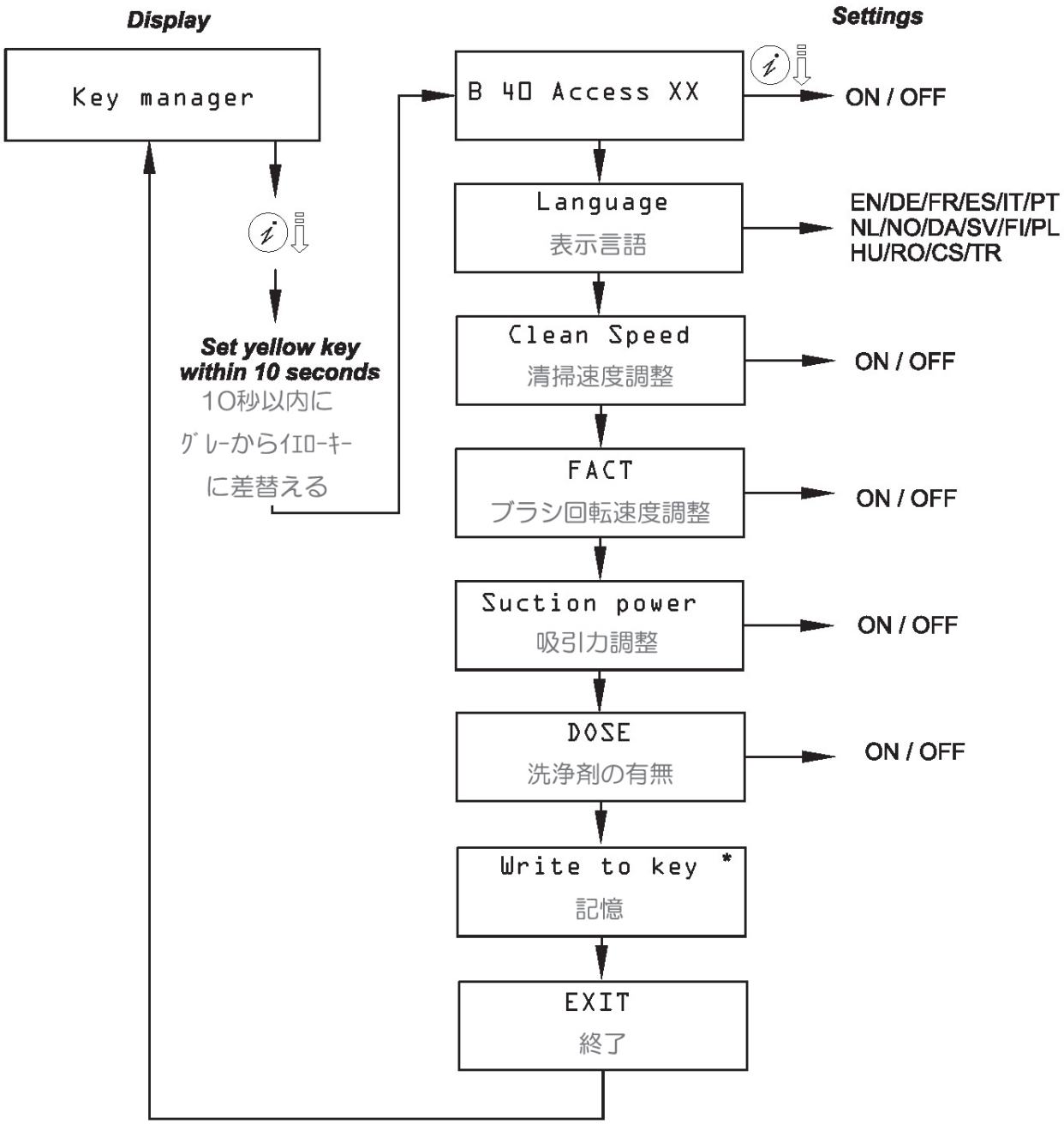
⑨ イエロープレートキーを挿入し設定を確認してください。

*　プログラムスイッチを OFF にすると設定は失われます。

**　Cleaning App 選択が優先されます。（Key manager　⇒　B40 Access OFF）

***　通常は０～５秒の設定です。（60 秒設定はサービスモードです）

管理者が決める　作業者が調整出来る範囲の設定



ディスプレー	原因	初期設定
B 40 Access XX	アクセス権限	ON
Language	言語設定	Eng
Clean Speed	清掃スピード	OFF
FACT	BR のみ　ブラシ回転速度	OFF
Suction power	吸引力設定	OFF
DOSE	洗剤投入量	OFF
Write to key	押すと設定が記憶されます	
EXIT	押すと Key manager　からです	

＜作業者が調整できる範囲の設定＞

① グレープレートキーを挿入してください。

② メニューダイヤルを回し 表示を Key manager に合わせてください。

③ グレープレートキーを抜き 10 秒以内にイエロープレートキーを挿入してください。

④ メニューダイヤルを回し 調整項目を呼び出します。

⑤ 調整項目を変更する場合は

ON ⇔ OFF のどちらかを選びメニューダイヤルを 押してください。

⑥ 設定終了後 インフォボタンを回し Write to key を表示してください。

⑦ メニューダイヤルを 押し設定を記憶してください。

⑧ メニューダイヤルを回し Key manager を表示させてください。

⑨ プログラムスイッチを OFF に合わせてください。

⑩ イエロープレートキーを挿入し設定を確認してください。

調整項目

- B40 Access

  ON オペレーターが任意に設定を調整することができます。

  OFF オペレーターは調整できません。 Cleaning APP で設定した固定設定

- Language

  表示言語の選択を行います。（日本語の設定はありません）

- Clean Speed （B40 Access ON の場合）

  ON 作業者が調整することができます。

  OFF 作業者は調整することはできません。

- FACT （B40 Access ON の場合）

  ブラシヘッドの選定が R の場合

  ON 作業者が調整することができます。

  OFF 作業者は調整することはできません。

- DOSE （B40 Access ON の場合）

  ON 作業者が調整することができます。

  OFF 作業者は調整することはできません。

- Write to key

  設定の記憶を行います。

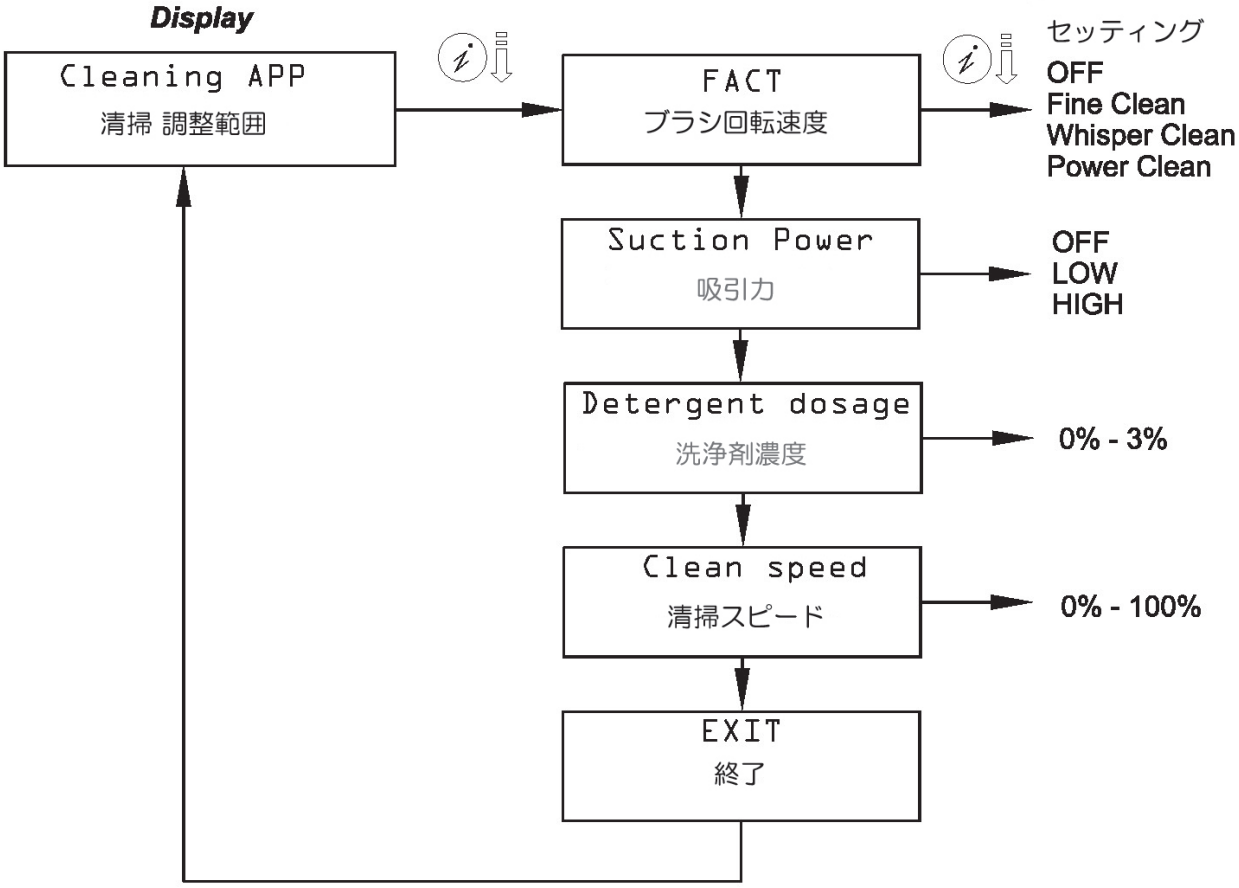
  メニューダイヤルを押すと Write ok と表示されます。

- EXIT

  出口です。

  メニューダイヤルを押すと Key manager と表示されます。

プログラム毎の清掃仕様を設定する



＜初期設定＞

プログラム スイッチ	移動速度	清掃速度	ブラシ BRのみ	走行停止後の ブラシ駆動時間	洗浄剤	吸引力	吸引以外に 設定した時の 駆動時間
停止							
走行	0～6 Km/h						
ECO洗浄		70%	Whisper	0秒	0.5%	LOW	10秒
洗浄		70%	Power	0秒	1%	HIGH	10秒
洗い		70%	Power	0秒	3%		
吸引		70%				HIGH	10秒
磨き		70%	Power	0秒			

① グレープレートキーを挿入してください。
② メニューダイヤルを回し 表示を Cleaning APP に合わせてください。
③ プログラムスイッチを清掃モードに合わせてください。
④ メニューダイヤルを回し 調整項目を呼び出します。
⑤ 調整項目を変更する場合は
各プログラム毎にメニューダイヤルを回し 設定を変更してください。
⑥ 設定終了後　メニューダイヤルを回し EXIT　を表示してください。
⑦ メニューダイヤルを押すと Cleaning APP が表示されます。
⑧ プログラムスイッチを OFF に合わせてください。
⑨ イエロープレートキーを挿入し設定を確認してください。

調整項目

各清掃プログラム毎に調整を行います。

- FACT

  ブラシヘッドの選定が R の場合　4 種類の回転を選べます。

OFF	停止
Fine Clean	低速
Whisper Clean	中速
Power Clean	高速

- Suction Power

  吸引力を調整することができます。

  OFF　停止
  LOW　低吸引
  HIGH 高吸引

- Detergent dosage

  DOSE 搭載機は洗浄剤投入量を調整できます。

  0%～3%

- Clean speed

  清掃時の走行スピードを調整できます。

  0 ～ 100%

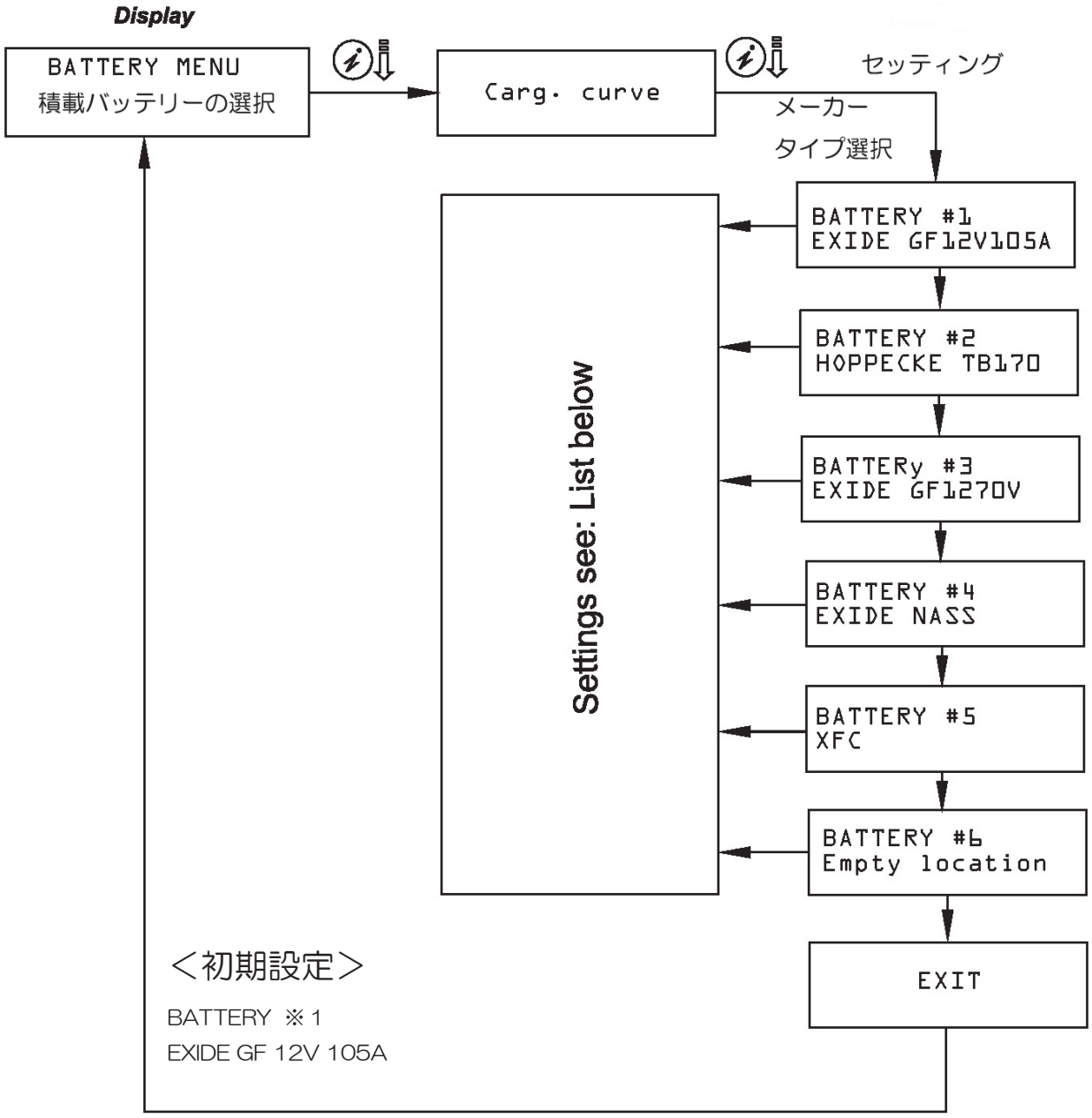
- EXIT

  出口です。

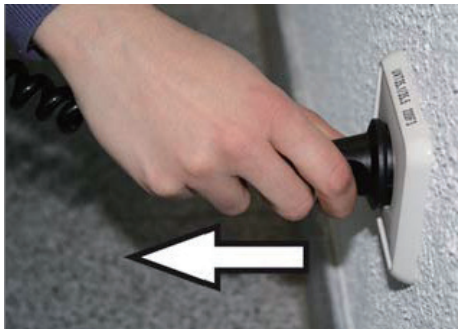
  メニューダイヤルを押すと Cleaning APP が表示されます。

バッテリーの選定

納車時のバッテリーを異種バッテリーと積み替える場合設定を変更してください。



操作手順



充電器のプラグを
抜いてください。

充電器のケーブルを
収納してください。

給水を行なってください。
水道圧：0.5MPa まで
水温：６０度まで

洗浄剤をセットしてください。

プログラムスイッチを
OFF に合わせてください。

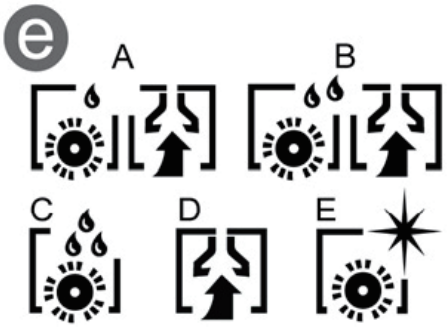
プレートキーを
差し込んでください。

プログラムスイッチを
走行モードに合わせてください。

前進

後進

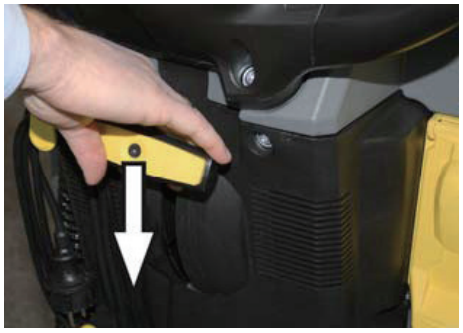
洗浄プログラムを
選んでください。



プログラムスイッチ	動作
停止	ーーーー
走行モード	移動
A　ECO 洗浄モード	汚れの軽い場所
B　標準洗浄モード	日常清掃
C　洗いモード	洗いをおこなう場合
D　吸引モード	吸引をおこなう場合
E　磨きモード	磨きをおこなう場合

洗浄水ノブを回し水量を
調整してください。

ブラシ昇降ペダルを
操作しブラシを下ろ
してください。



スクイジー昇降レバー
を操作しスクイジーを
下ろしてください。

● BR
プレスイープタンク
のゴミを定期的に捨
ててください。

作業終了手順

給水ノブを回し吸水を止めてください。

アクセルレバーをニュートラルにし機械を停止させてください。（手を放してください。）

ブラシ昇降ペダルを操作し持ち上げてください。

走行レバーを前方にゆっくり倒し床面の残水を回収してください。（2m 程前進した後停止してください）

スクイジー昇降レバーを操作しスクイジーを持ち上げてください。

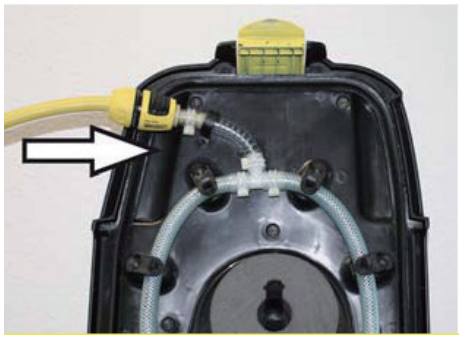
プログラムスイッチをOFF に合わせてください。

プレートキーを抜いてください。

保管方法

汚水ホースをホルダーから外してください。

汚水ホースの先端をつぶしながらキャップを開け汚水を捨ててください。



排水ホースは排水溝に沿わせた状態で放置してください。
汚水タンク洗浄システムに給水ホースを接続してください。

30 秒間給水を行ない汚水タンクを濯いでください。
洗浄後
給水ホースを取り除いてください。
排水ホースを元の状態に戻してください。

充電場所に移動しカバーを開けた状態で保管してください。

充電器の電源プラグをコンセントへ接続してください。

メンテナンス

作業時間毎の確認事項

確認の前に必ずスイッチを切ってください。

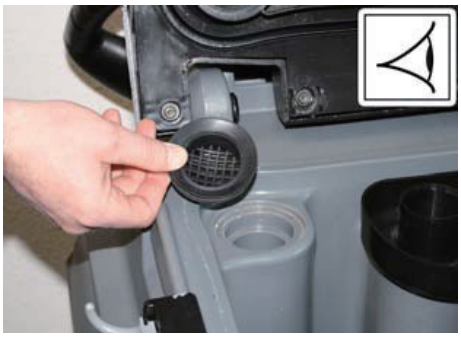
＜５０作業時間ごとの確認ポイント＞
バッテリーケーブルに損傷が無いか確認してください。
バッテリー端子が腐食していないか確認してください。
スクイジーゴムの磨耗状態を確認してください。
ブラシの磨耗状態を確認してください。

＜１００作業時間ごとの確認ポイント＞
バッテリーケース・バッテリーを清掃してください。

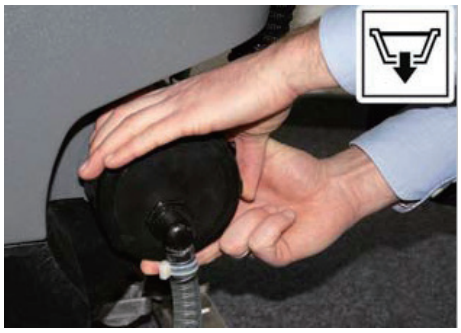
＜２００作業時間ごとの確認ポイント＞
走行レバーの作動状態を確認してください。
全てのモーターのメンテナンスを依頼してください。

メンテナンス （フィルター）

汚水フィルターのゴミ
を捨ててください。



汚水フィルターのゴミ
を捨ててください。

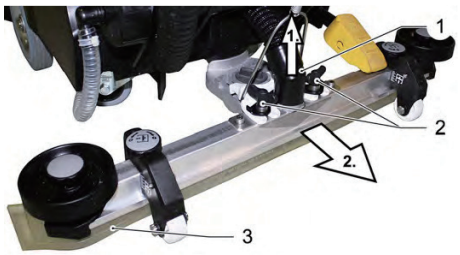


キャップを取り外します。
洗浄水タンクに水が残
っている場合は水が勢
い良く出てきます。

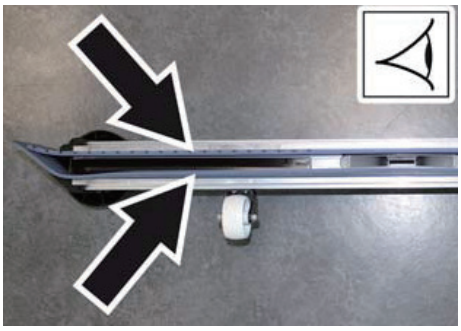
洗浄水フィルターを
取り外します。

洗浄水フィルターを
流水で濯いでください。
フィルターを元に戻し
キャップをしっかりし
めてください。

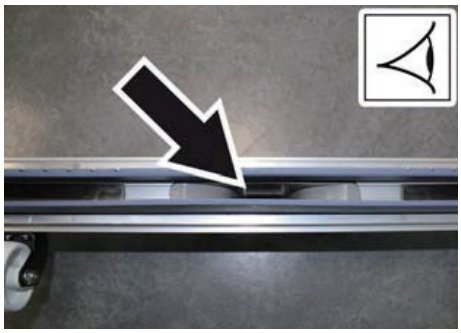
メンテナンス （スクイジー）



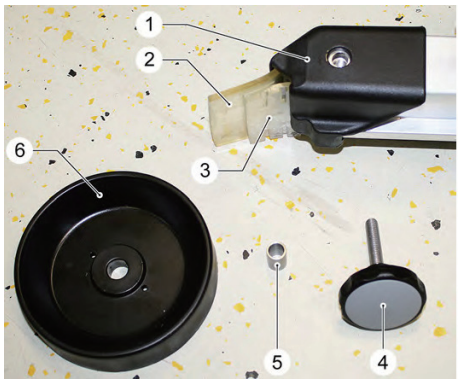
吸引ホースを引き抜いてください。
スクイジー固定ネジを緩めてください。
１　吸引ホース
２　固定ネジ



スクイジーゴムを確認し損傷摩滅が生じているしている場合は交換してください。

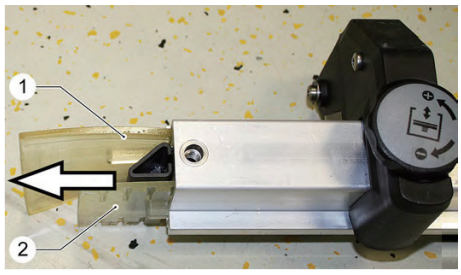


吸引口につまりがないか確認してください。

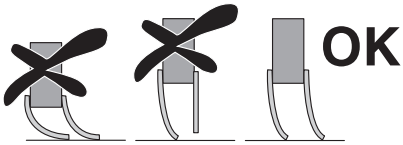


スクイジーゴムの外し方
両端のスクリューを外してください。
１　プロテクター　　２　スクイジーゴム　後
３　スクイジーゴム　前　４　スクリュー
５　ブッシュ　　６　ガイドローラー

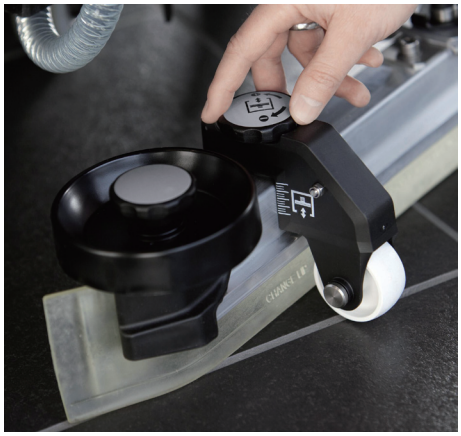
プロテクターを取り外してください。



スクイジーゴムをノズルから引き抜いてください。
スクイジーゴムは上下両面を使用できます。
両面を使用している場合には新しいものと交換してください。



スクイジーゴムの接地を OK 状態になるようガイドローラーの高さで調整してください。



トラブル対応

●ブラシが回らない

ブラシに異物がかみこんだ場合
安全装置が作動し停止します。

プログラムスイッチを OFF に合わせてください。
ブラシを取り外し異物を取り除いてください。

異物を取り除いた後
プログラムスイッチを洗浄モードに合わせてください。
再発する場合はメンテナンスを依頼してください。

●洗浄剤が出ない

洗浄水ノブを回し水量を増やしてください。

洗浄水の水位が 1/4 以下の場合は補水してください。

トラブル	原因	対策
起動しない	バッテリー電圧低下	充電を行なう
	バッテリー未接続	コネクターをつなぐ
	バッテリーケーブル損傷	交換する
	バッテリーケーブル腐食	交換する
	非常停止スイッチ作動	解除する
	ヒューズが切れている	交換する
洗浄水が出ない	アクセルを踏みながらON	ｱｸｾﾙを放しｽｲｯﾁを入れる
	アクセルの故障	修理を依頼する
	走行ﾚﾊﾞｰｽｲｯﾁが未動作	走行ﾚﾊﾞｰを操作する
	制御オーバーヒート	5 分間冷却
	設定モードが重負荷	清掃モードを変更
	バッテリー電圧低下	充電を行なう
	フィルターの詰まり	ゴミを取り除く
吸引が悪い	汚水タンクが満水	汚水を廃棄
	汚水タンクに泡が発生	洗浄剤を変える
	スクイジーの設定が悪い	調整する
	スクイジーゴムの磨耗	交換する
	タンクカバーのシール不良	シールを清掃
	ホースキャップの外れ	キャップをする
	吸引ホースの詰まり	ホースの異物を取り去る
	吸引ホースの取り回し不良	取り回しを確認
	吸引ホースの破れ	交換する
	フィルターの詰まり	ボールが動くよう清掃

トラブル	原因	対策
ﾊﾞｯﾃﾘｰｲﾝｼﾞｹｰﾀｰ点滅	バッテリー-電圧低下	充電をおこなう
	エラー表示	エラーを解除・修理依頼
汚れが落ちない	フロートが固着	フィルターを清掃する
	設定モードが悪い	清掃モードを変更
	ブラシが磨耗	交換
	ブラシにゴミが絡む	ゴミを取り除く
	洗浄剤の選定が悪い	洗浄剤を変える
	ブラシの選定が悪い	ブラシの硬さを変える
洗浄剤が出ない	洗浄水タンクが空	洗浄水を補給する
	フィルター詰まり	ゴミを取り除く
	手動バルブが閉まっている	バルブを開ける
	電磁バルブの固着	修理を依頼する
	ホースがつぶれている	修理を依頼する
ブラシが回らない	バッテリー電圧低下	充電をおこなう
	設定モードが悪い	設定を変える
	エラー表示	不良部位を修繕
	プログラムスイッチ損傷	交換
	ブラシが磨耗	ブラシを交換する
	ブラシにゴミが絡む	ゴミを取り除く
ブラシが昇降しない	吊り下げボルトの外れ	取り付けしなおし
	昇降モーター損傷	修理を依頼する
	プログラムスイッチ損傷	交換
	充電されていない	充電する
作業時間が短い	ブラシ負荷が大きい	ブラシを交換する
	室温が著しく低い	暖かい場所で充電する
	バッテリーの寿命	交換する

エラー表示

表示	原因	対策
ERR_U_BATT_001	バッテリー電圧	バッテリーを充電
ERR_K1_002	メインリレー異常	メインリレーを交換
ERR_ZK_2V_003 ERR_ZK_10V_004	充電器異常 充電開始後の電圧異常 50msec/200msec	スイッチを入れ直す バッテリー接続を確認 バッテリー電圧を 22V 以上にする 各モーター接続線を確認
ERR_5V_005	5V の電圧異常	スイッチを入れ直す
ERR_U_H1_006 ERR_U_H1_007 ERR_U_H1_008 ERR_U_H1_009	UBAT 異常	基盤損傷 / 交換 スイッチを入れ直おす ﾊﾞｯﾃﾘｰ電圧を 22V 以上にする ﾊﾞｯﾃﾘｰ接続を 2 分間取り外す 走行モーター・吸引タービンを 回路から切り離し動作を確認する 解決しない場合：制御基盤を交換 解決した場合：モーター接続線交換
ERR_K1_010	メインリレー診断	スイッチを入れ直す ﾊﾞｯﾃﾘｰ電圧を 22V 以上にする ﾊﾞｯﾃﾘｰ接続を 2 分間取り外す メインリレーを交換 制御基盤を交換
ERR_K1_011 ERR_K1_012 ERR_K1_013	メインリレー診断	スイッチを入れ直す ﾊﾞｯﾃﾘｰ電圧を 22V 以上にする ﾊﾞｯﾃﾘｰ接続を 2 分間取り外す メインリレー接続線を確認 制御基盤を交換
ERR_K1_014	プログラム異常	スイッチを入れ直す バッテリー電圧確認 制御基盤を交換

表示	原因	対策
ERR_FR_015	ﾌﾞﾗｼﾓｰﾀｰ電源異常	ｽｲｯﾁを入れ直す ﾊﾞｯﾃﾘｰ電圧を 22V 以上にする ﾊﾞｯﾃﾘｰ接続を 2 分間取り外す ﾓｰﾀｰ接続ｹｰﾌﾞﾙ確認 制御基盤を交換
ERR_FR_016	ﾌﾞﾗｼﾓｰﾀｰ短絡	ﾌﾞﾗｼﾓｰﾀｰ接続線を取外し作動させ 解決しない場合：制御基盤を交換 解決した場合：接続線交換
ERR_FR_017	ﾀｰﾋﾞﾝﾓｰﾀｰ電源異常	ｽｲｯﾁを入れ直す ﾊﾞｯﾃﾘｰ電圧を 22V 以上にする ﾊﾞｯﾃﾘｰ接続を 2 分間取り外す ﾓｰﾀｰ接続ｹｰﾌﾞﾙ確認 制御基盤を交換
ERR_FR_018	ﾀｰﾋﾞﾝﾓｰﾀｰ短絡	ﾀｰﾋﾞﾝﾓｰﾀｰ接続線を取外し作動させ 解決しない場合：制御基盤を交換 解決した場合：接続線交換
ERR_FR_022	走行ﾓｰﾀｰ電源異常	ｽｲｯﾁを入れ直す ﾚﾊﾞｰｽｲｯﾁを確認 ﾚﾊﾞｰｽｲｯﾁ接続線を確認 ﾚﾊﾞｰｽｲｯﾁを交換 制御基盤を交換
ERR_FR_024	走行ﾚﾊﾞｰｽｲｯﾁ異常	走行ﾚﾊﾞｰｽｲｯﾁ接続線を確認 走行ﾚﾊﾞｰｽｲｯﾁを交換 制御基盤を交換
ERR_STL_026 unit ERR_STL_043	制御基盤異常	ﾊﾞｯﾃﾘｰ電圧 23V 以上かつ室温が 40 度以上ある場合制御異常発生 制御基板交換
ERR_U_BATT_044	ﾊﾞｯﾃﾘｰ電圧異常	ﾊﾞｯﾃﾘｰ電圧を 22V 以上にする
ERR_TEMP_045 unit ERR_TEMP_048	制御基盤ｵﾊﾞｰﾋｰﾄ	10 ～ 30 度の環境で冷却
ERR_I_BURSTE_049	ﾌﾞﾗｼﾓｰﾀｰがｵﾊﾞｰﾋｰﾄ	ﾌﾞﾗｼが床に適合していない ﾌﾞﾗｼのゴミを取除く ﾌﾞﾗｼﾓｰﾀｰ接続線を確認
ERR_I_TURB_050	ﾀｰﾋﾞﾝﾓｰﾀｰがｵﾊﾞｰﾋｰﾄ	蚯蚓ﾎｰｽの詰まりを取除く ﾀｰﾋﾞﾝﾓｰﾀｰ確認 接続線を確認

表示	原因	対策
ERR_PWM_FM_051	走行異常	走行ﾓｰﾀｰ接続線を確認 走行ﾓｰﾀｰを確認 走行ﾓｰﾀｰ交換
ERR_PWM_TB_052	ﾌﾞﾗｼ・ﾀｰﾋﾞﾝ異常	ﾓｰﾀｰ接続線を確認 ﾌﾞﾗｼﾓｰﾀｰ・ﾀｰﾋﾞﾝﾓｰﾀｰを確認 ﾓｰﾀｰを交換
ERR_BT53	制御異常	制御回路間の接続ｹｰﾌﾞﾙ（黄色） を確認 操作ﾊﾟﾈﾙ基盤を操作し必要に応じ て交換

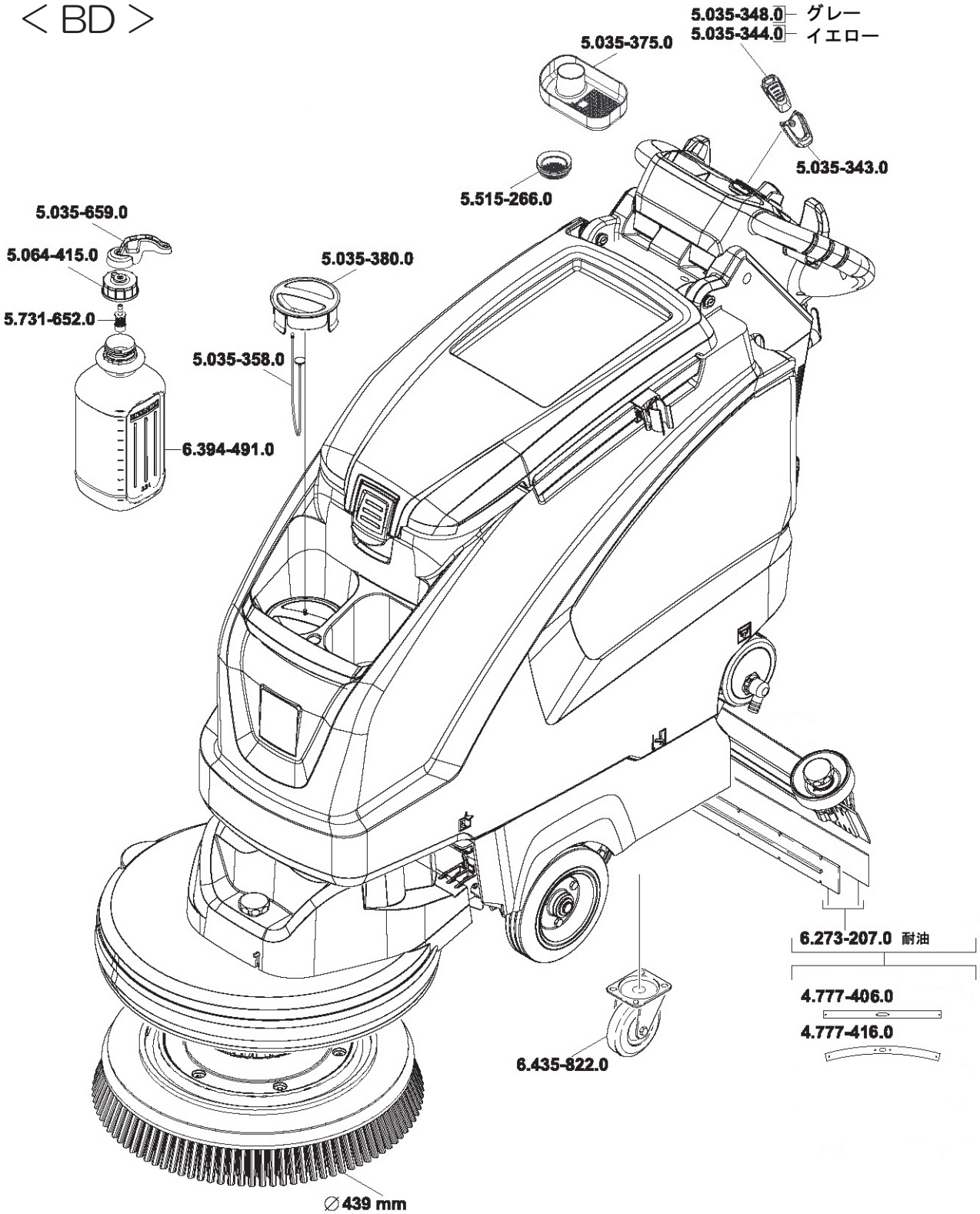
ユーザー保証・問い合わせ先

ユーザー登録をされた場合のみ１年間の保証が適用されます。
保証規定は保証書をご確認ください。

＜サービスフロント＞
修理・製品に関するお問い合わせは
TEL：022-344-3164 又は
022-344-3146 へお問い合わせください。

ケルヒャー ジャパン株式会社
本社： 宮城県黒川郡大和町松坂平３丁目２番 TEL (022)344-3140

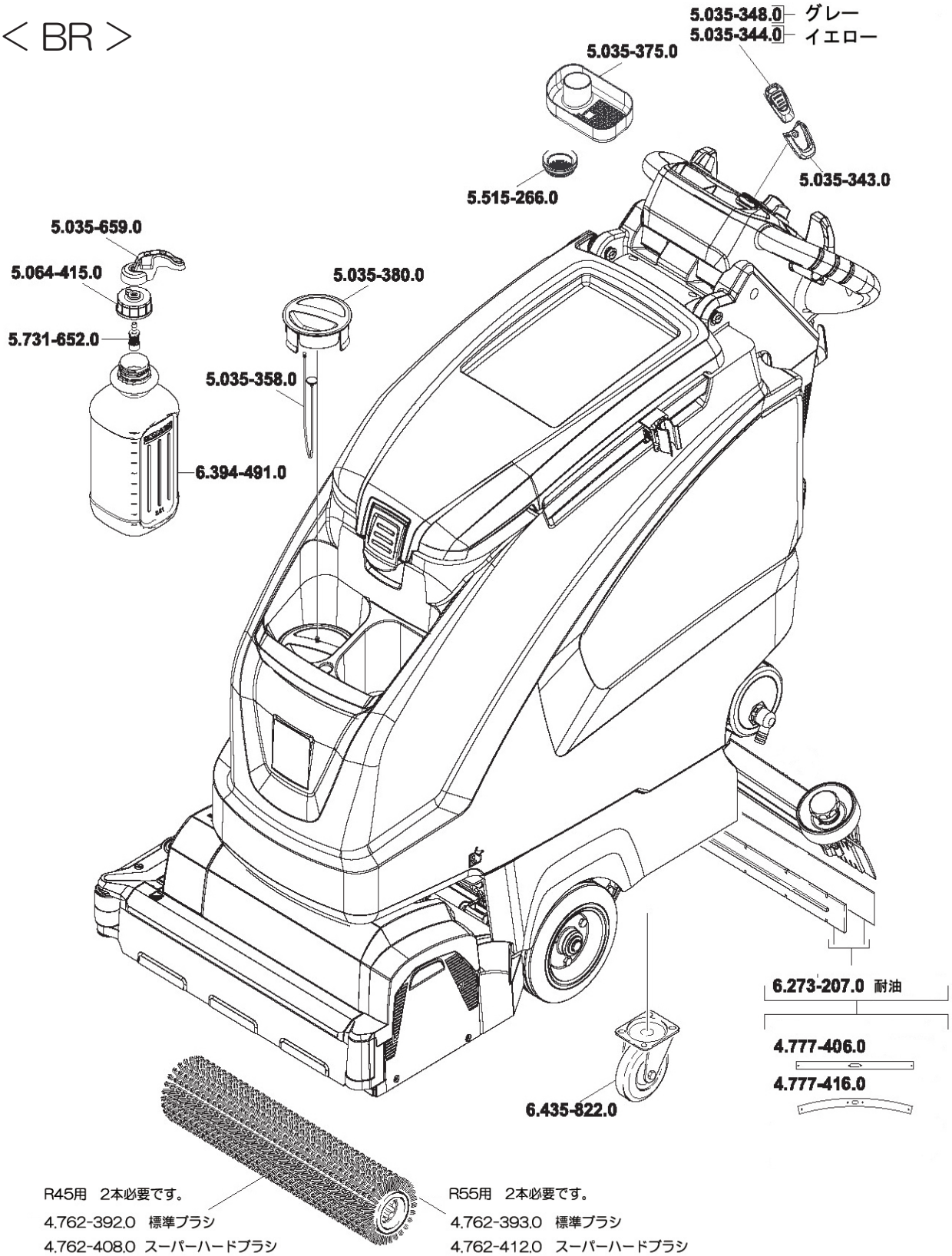
＜ BD ＞



∅439 mm
4.905-022.0 標準ブラシ
4.905-023.0 ナチュラルブラシ
4.905-024.0 ソフトブラシ
4.905-025.0 スーパーハードブラシ

∅515 mm
4.905-026.0 標準ブラシ
4.905-027.0 ナチュラルブラシ
4.905-028.0 ソフトブラシ
4.905-029.0 スーパーハードブラシ

＜BR＞



R45用　2本必要です。

4.762-392.0　標準ブラシ
4.762-408.0　スーパーハードブラシ
4.762-407.0　ハードブラシ
4.762-405.0　ソフトブラシ
4.762-406.0　凹凸用ブラシ

R55用　2本必要です。

4.762-393.0　標準ブラシ
4.762-412.0　スーパーハードブラシ
4.762-411.0　ハードブラシ
4.762-409.0　ソフトブラシ
4.762-410.0　凹凸ブラシ